

観光研究から 「平和」を考える

ピースツーリズム研究の試み

2024

3月2日(土) 13:15~14:30

開催場所：とかちプラザ 講習室402
帯広市西4条南13丁目1

定員50名**参加無料**

※ZOOM配信はありません



講師

山田 義裕 先生

- 放送大学北海道学習センター所長
- 北海道大学名誉教授

20世紀は二つの世界大戦に象徴される「戦争の世紀」でした。その後冷戦の終結を経て新しい世紀を迎える中で、多くの人が戦争のない平和な時代へと足を踏み出すことができると期待を込めて信じていました。しかし現状はどうでしょうか。今また戦争の世紀に引き戻されたかのようにウクライナとパレスチナは悲惨な戦場と化し、多くの市民が命を落としています。そしてこれらの惨劇を前に即時停戦を訴える声が強まり、世界中で反戦デモが続いています。

反戦の努力はいつか実を結び、戦争を終結させることができるでしょう。しかし、たとえ戦争という直接的な暴力がなくても、社会に差別がはびこり、貧困が蔓延しているなかでは、人は平穏で幸福な生活を送ることができません。平和研究者のヨハン・ガルトゥングは、「暴力」を戦争などの直接的暴力と貧困、差別、抑圧、飢餓などの間接的暴力に分けました。そして、平和もそれに対応して、戦争がない状態を消極的平和、また貧困、差別などの構造的暴力がなく基本的人権などが保証されている状態を積極的平和と区別しました。ガルトゥングの言う暴力と平和についての議論は、「平和」という概念を鍛え直す試みの代表と言えますが、この講演ではガルトゥングの平和論に依拠しながらも、これとは異なるもう一つの視点、観光研究の視点から「他者との出会い」や「偶有性」をキーワードに平和について考えたいと思います。

発足から40年を迎えた故中村哲氏のペシャワール会の活動にも触れる予定です。

主催 放送大学北海道学習センター

共催 帯広市教育委員会

お申込み・お問合せ

放送大学北海道学習センター
TEL.011-736-6318 (休み/月・祝)

オンライン申込は
こちらから